

議題(3) 具体的な施設整備について

1. 整備するために必要な条件や制約

(1) 『道の駅』の基本機能（登録要件）

休憩機能	◇駐車場 利用者が無料で24時間利用できる十分な容量を持った駐車場 ◇トイレ 利用者が無料で24時間利用できる清潔なトイレ 障がい者用も設置
情報発信機能	・道路及び地域に関する情報を提供 (道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報等)
地域連携機能	・文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設
設置者	・市町村又は市町村に代わり得る公的な団体
その他配慮事項	・施設及び施設間を結ぶ主要経路のバリアフリー化

(2) 敷地の条件

a. 整備地	阿賀野市下黒瀬地内
b. 敷地面積	約 3.3ha (33,000 m ²)

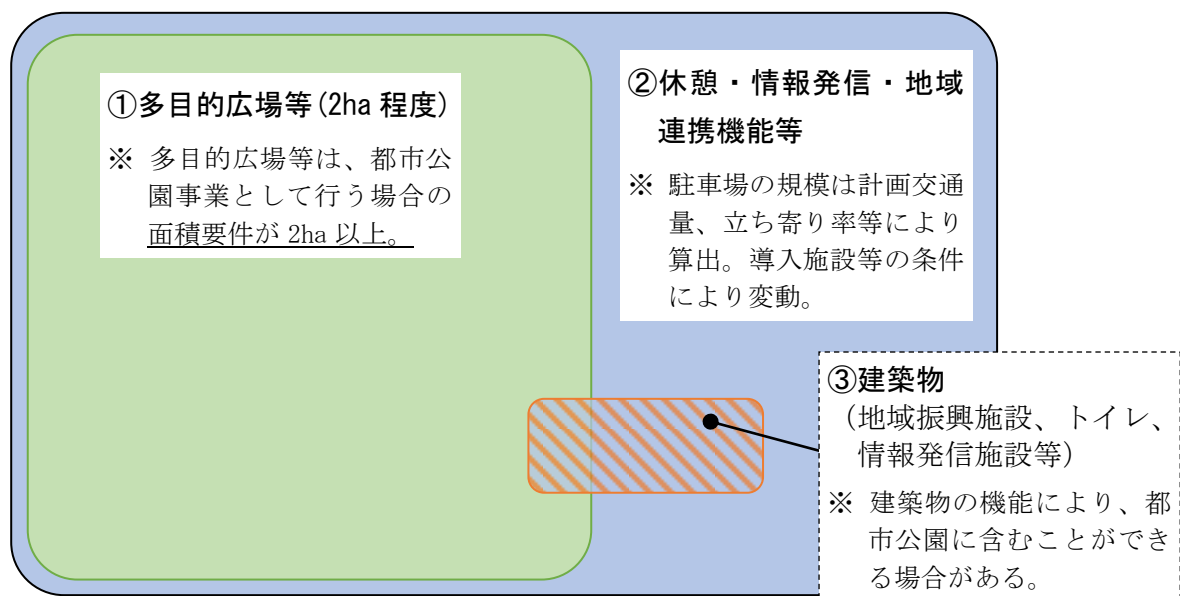


図 道の駅の導入施設のイメージ

2. 阿賀野市『道の駅』基本構想

(1) 「整備コンセプト」及び「整備方針」

「整備コンセプト」

白鳥の空・恵みの大地が織り成す阿賀野市の
交流・賑わい・未来交差点

基本方針1. 市民と利用者に愛され、多くの人が集う『いやしの空間』

基本方針2. 地方創生に向け、地域資源の活用と交流を図るとともに、
地域情報を発信する『にぎわいの空間』

基本方針3. 災害時に応急活動や被災者支援を行う『まもりの空間』

「導入機能の整備方針」

(1) 休憩機能

- ①いつでも利用できる快適なトイレ
- ②止めやすい十分な規模の駐車場
- ③安心して、心安らげる休憩の場

(2) 情報発信機能

- ①道路交通情報
- ②総合的な地域情報

(3) にぎわい・交流機能（地域連携機能）

- ①農産物の直売
- ②阿賀野ブランドの情報発信
- ③誰もが気軽に活用できる多目的広場

(4) 防災機能

- ①防災拠点として利用する場合に必要な機能
- ②災害情報提供機能の検討

(2) 導入機能の整備方針

	導入機能	整備方針 [※基本構想記載事項]	
基本機能	(1) 休憩機能	①いつでも利用できる快適なトイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・『道の駅』を訪れた誰もが、24時間安心して快適に利用できるトイレを設置します。 ・利用者の規模に応じた便器数を確保します。 ・子どもや高齢者、障がい者をはじめ誰もが利用しやすいトイレを設置します。 ・災害時でも利用できるトイレの設置を検討します。
		②止めやすい十分な規模の駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に応じた駐車場規模を確保します。 ・誰もが止めやすい、ゆとりある駐車スペースを整備します。 ・可能な限り大型車と小型車を分離し、両者が交錯しない駐車場とします。 ・障がい者用駐車スペースを施設に近い位置に設置します。 ・車を降りた人の安全を確保するため、歩行者動線を確保します。 ・バイクや自転車のための駐車スペースを検討します。
		③安心して、心安らげる休憩の場	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てファミリーなど誰もが安心して休憩できる場を確保します。 ・周囲の自然（五頭連峰等）や田園風景（農村の風景）等の眺望を活かし、心安らげる休憩の場を確保します。
	(2) 情報発信機能	①道路交通情報	<ul style="list-style-type: none"> ・道路利用者のために道路交通情報を提供します。
		②総合的な地域情報	<ul style="list-style-type: none"> ・『道の駅』の利用者に、阿賀野市の魅力や地域の観光、イベントなどの総合的な地域情報を提供します。 ・阿賀野市の魅力が伝わる場となる様な情報提供のやり方を検討します。 ・阿賀野市における旬な、農産品、特産品、話題等を提供します。
	(3) にぎわい・交流機能 (地域連携機能)	①農産物の直売	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者ニーズに対応できるよう、豊富な品揃えができる空間確保に努め、地元農産物の消費拡大や産地育成・振興のための機能を提供します。
		②阿賀野ブランドの情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・阿賀野ブランドの地場産品・特産品の魅力をPRするため、これらを販売する機能を提供します。 ・「食」を通じて地域の魅力、美味しさやこだわりの情報を発信するため、阿賀野ブランドを活用した飲食機能を提供します。
		③誰もが気軽に活用できる多目的広場	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の自然（五頭連峰等）や田園風景（農村の風景）等の眺望を活かし、快適にすごすことができ、また、誰もが活用できる多目的広場を設置します。 ・多目的広場等を活用し、市民や観光客が気軽に参加できるイベントを検討します。
		④多様なアクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や多くの方々に訪れて交流してもらうため、市営バスなどマイカー以外でのアクセス方法の確保について検討します。
	災害時	(4) 防災機能	①防災拠点として利用する場合に必要な機能
②災害情報提供機能の検討			<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生状況等の情報提供する機能を検討します。